

会津若松市の観光における活性化の為の提案

a2200228 本木 望

背景及び目的

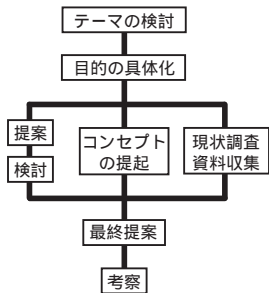
近年、団体旅行から小グループや家族旅行に旅行形態は変わりつつある。それと共に、「見る」観光から「する」といった参加型・体験型の観光に、観光ニーズも変化してきた。また、海外旅行の増加により国内旅行の空洞化が起こり、観光産業は低迷し、他の観光地との競争も激化してきている。

観光資源が豊富にあり、県内有数の観光地である会津若松も、その影響を受けており、観光産業の低迷化が進んでいる。観光産業は、会津若松にとって重要な産業の一つである。

今私が住んでいる会津若松を、もっと多くの人に知って欲しい、市にとって重要な観光産業を盛り上げたいと考え、会津のカラー(会津らしさ)を出した、新しい市内観光プランの提案をする。

方法及び経過

研究経過は以下のフローチャートの通りに進めた。



調査結果

調査し、感じたことなどをまとめた。

- 市内観光に関して
- ・モデルコースの中に、体験学習が含まれていることはあまりない。
 - ・「会津若松駅発着」というモデルコースはほとんどない。
 - ・観光客が最も多いのは10月、11月。(次いで5月、8月)
 - ・観光客が少ないのは1月、2月、3月。

- 南会津地方の観光に関して(南会津地方観光振興プランより)
- ・中高年の観光客が半数以上を占め、若年層の観光客は非常に少ない
 - ・県外の観光客が多く、大体が近県、関東
 - ・4人以下の小グループがほとんど
 - ・マイカーで来る人が非常に多い
 - ・リピーターの割合が多い(半数以上)
 - ・温泉、自然、一般観光、風景、人情を求めて来る人が多い(=のんびりとした人が多い)

調査資料

会津若松市役所統計データより

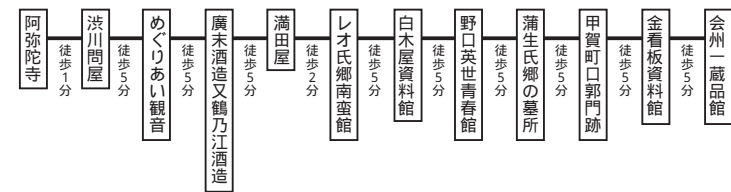
年	観光客数	観光客数	観光客数	観光客数	観光客数	観光客数
1998	2,815	2,815	2,815	2,815	2,815	2,815
1999	2,891	2,891	2,891	2,891	2,891	2,891
2000	2,936	2,936	2,936	2,936	2,936	2,936
2001	2,914	2,914	2,914	2,914	2,914	2,914
2002	2,914	2,914	2,914	2,914	2,914	2,914
2003	2,914	2,914	2,914	2,914	2,914	2,914
2004	2,914	2,914	2,914	2,914	2,914	2,914



- 会津若松の観光資源
- 歴史
 - ・建物
 - ・人物(野口英世、白虎隊など)
 - ・史跡
 - 工芸
 - ・漆器
 - ・木綿
 - ・起きあがり小法師
 - ・赤ペコ
 - ・唐人風
 - ・桐製品
 - ・天神
 - ・風車
 - 自然
 - ・桜
 - ・温泉
 - ・山
 - 食べ物
 - ・酒
 - ・身不知柿
 - ・こづゆ
 - ・にしんの山椒漬け
 - ・棒たら
 - ・駄菓子
 - ・そば
 - ・絵ろうそく
 - その他
 - ・ハイカラさん
 - ・SLばんえつ号
 - ・七日町通り
 -など

観光プランの一例

まちなか散策ルート(あいばせ参照)



コンセプト

- 「会津若松を味わう」
- ・人の温かさ・町並み・自然・会津の味...など

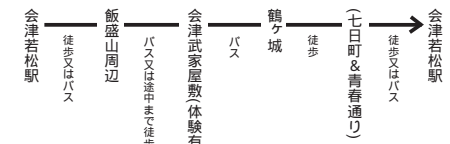
- 設定条件
- ・人数：2～4人
 - ・旅行日数：日帰り又は1泊2日
 - ・観光の時間：1日(朝～夕方ころまで)
 - ・交通手段：自家用車以外の公共の乗り物(バス・タクシー・レンタサイクル)
 - ・旅の玄関である会津若松駅発着

提案プラン

【プラン1A】

ウォーキングしつつ観光したい人の為に。

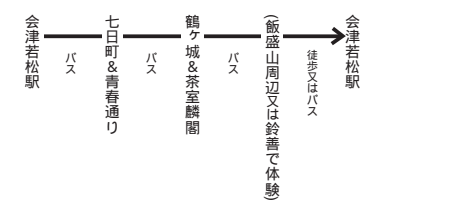
- ・食事と移動時間を含め、4～5時間のプラン。



【プラン1B】

年配の方など、歩くことが困難な人の為に。交通手段は主に、ハイカラさん

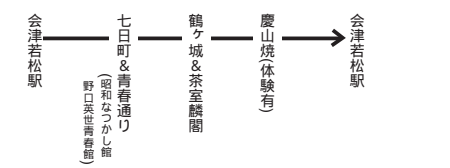
- ・食事と移動時間を含め、4時間半ほどのプラン。
- ・のんびりコース
- ・なるべく歩く時間を少なくした



【プラン2】

若年層に楽しんでもらえるプラン 交通手段は主に、ハイカラさん

- ・食事と移動時間を含め、3時間半～4時間のプラン。



考察

現在会津若松市では、観光地の整備(まちづくりの見直し)、誘客・受け入れ事業(情報発信やJRなどとの連携で観光PR)、国際観光都市の推進(海外への若松PR)を行っている。魅力ある観光地にするための長期にわたる事業が行われ、観光などに対しても力を入れていることが分かった。

今回の研究を通じて、改めて会津若松の良さ、素晴らしさを知り、学ぶことが出来た。正直、この会津若松に暮らし始める前や暮らし始めた当初は、何もない町だと思っていた。暮らしていくうちに、会津には良いところがいっぱいあるのだと感じてきた。確かに、若者向けのお店などは少ないが、それとは違い、人の温かさや町並みなど若松ならではの良さがある。こんなに素敵なまちなのに、観光客が減り続けているのは、とても残念なことだ。年配の観光客はもちろんのこと、若年層の観光客が増え、会津若松の良さや素晴らしが多くの人に伝わって欲しい。

今回提案した観光プランが、ユーザー(観光客)にとっていいものとなるかどうか、評価をしてもらう段階まで至らなかったことが反省点である。また、観光ルートに入れてみたいところの店は、会津の人情を味わうことはできるが、会津の郷土料理のお店ではないので、「会津らしさ」というのは少し薄れてしまう。これらの反省点を今後の課題として検討していこうと思う。